

羽生市立須影小学校

みどりのカーテン作り体験



第3学年

特色

- 植物を育て、種や実を通して生命のつながりを理解し、自然を愛する心情を育むことができる。
- つる性の植物をカーテン状に育てることで太陽の日差しを遮り、また、蒸散作用で葉っぱが冷えることで涼しい空気を生み出す。それにより、エアコンの使用を控え、地球温暖化防止について考えることができる。

児童の感想

- みどりのカーテンがあるところとないところで、温度がまったく違うことがわかった。
- みどりのカーテンのある所のアスファルトの温度は 32.1℃、緑のカーテンのない所のアスファルトは 51.5℃と、みどりのカーテンには、温度を下げる効果があることがわかった。

成果

- 子供たちの生命や自然を愛する心情を育てることができた。
- みどりのカーテンの効果を実証するために、サーモグラフィーを使って実験を行った。自分で植えたゴーヤやヘチマが表面温度を約 20℃下げていることを知り、みどりのカーテンが果たす役割の大きさを実感できた。